

教 育 要 覧

— 平 成 3 0 年 度 —

竹 原 市 教 育 委 員 会

目 次

I 竹原市の概要	1
II 平成30年度竹原市教育行政の目標	2
III 教育長及び教育委員の構成	3
IV 教育委員会事務局の構成・事務分掌	3
V 教育費科目別当初予算の推移	6
VI 竹原市立小学校・中学校・義務教育学校の現況	7
VII 竹原市立幼稚園の現況	22
VIII 生涯学習の現況	24
IX 図書館	27
X たけはら美術館	30
XI 平成30年度竹原市教育委員会の主要な事業	32

I 竹原市の概要

1 地 勢

面積118.23km²(東西21.2km・南北14.7km)
竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、東・北・西を山で囲まれているが、南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成して居る。また、年間平均気温15.1度、年間降水量1,244.0mmと温暖な気候にも恵まれ、南部地域では、ぶどう・じゃがいも・みかん等の農作物の栽培が盛んで、市の特産物となっている。

(面積 平成30年1月1日現在、 気温・降水量 平成29年1～12月分)

2 歴 史

市北部には壮大な古墳群があり、縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており、今から約3,000年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(645年)後、古代山陽道が整備されて都宇駅が置かれ、古くから交通の要所であった。平安時代には京都下鴨神社の荘園となり、竹原荘と呼ばれた。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(1258年)、小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。

江戸時代に入浜式塩田が開かれ(1650年)、竹原は急速に発展し、瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え、頼家一門を始めとする多くの文人、学者が生まれた。

明治時代に入ると、古くから商港として栄えた忠海に、豊田郡役所(1878年)や税務署(1896年)等が置かれ、豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和10年の呉線全線開通と、同12年の昭和鉱業(現三井金属鉱業)操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は、昭和27年から同31年までに下野村・東野村・大乘村・南方村の小梨地区、そして荘野村・田万里村及び吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し、昭和33年に忠海町と合併して市制を施行し、現在に至っている。

3 人口・世帯数の推移 (平成30年4月30日現在)

(1) 人 口 25,983人
 男 12,386人
 女 13,597人

(2) 世帯数 12,489世帯



市 章

City Insignia

竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる輪は平和で豊かな繁栄を象徴する。

昭和38(1963)年選定



Ⅱ 平成30年度竹原市教育行政の目標

竹原市は、多様化する市民ニーズや地域の課題などに的確に対応し、総合的かつ計画的にまちづくりを推進していくため、平成21年3月「第5次竹原市総合計画」を策定した。この計画では、これまでの取組を踏まえ、めざす将来像を『住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら』と定め、本市の持つ自然環境や歴史文化、コミュニティなど持てるもの、いわゆる底力を発揮し、多彩な交流・ふれあい、さらなる歴史文化を育み、生きいきとした暮らしやまちの活力・魅力を継承・発展させ、訪れたい、住んでみたい、住み続けたい、そして住んでよかったと思えるまちづくりを目指している。

教育施策の基軸を『子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦』と定め、安心と自信をもち子育てができるまち、子どもの夢を応援するまち、知徳体のバランスのとれた子どもの育成ができるまち、そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し、それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人ひとりが、生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために、教育行政の果たす役割は非常に重要である。

平成26年度からの後期基本計画及び平成27年11月に策定した「竹原市教育大綱」では、これまでの取組を継承するとともに、特に力を入れて進めていく施策として「将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実」・「新たな生涯学習の仕組みづくり」・「町並み保存地区の更なる活用・魅力づくり」を「チャレンジプロジェクト」に位置づけ、安心と自信をもち子育てができる環境の充実、次代を担う子どもの育成、生涯にわたり地域でいきいきと活躍できる生涯学習の推進、文化財の更なる活用、魅力づくりの具体化を図る。

教育行政の目標

- 1 「夢をもち、子どもが輝く教育の実現－未来を拓く新たな教育への挑戦－」を目指し、「就学前教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした、「基礎学力の定着・向上」「ICT活用教育」「生徒指導」「小中一貫教育」の推進
- 2 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進
- 3 だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進
- 4 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝え、はぐくむ人づくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進
- 5 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

Ⅲ 教育長及び教育委員の構成

(平成30年5月1日現在)

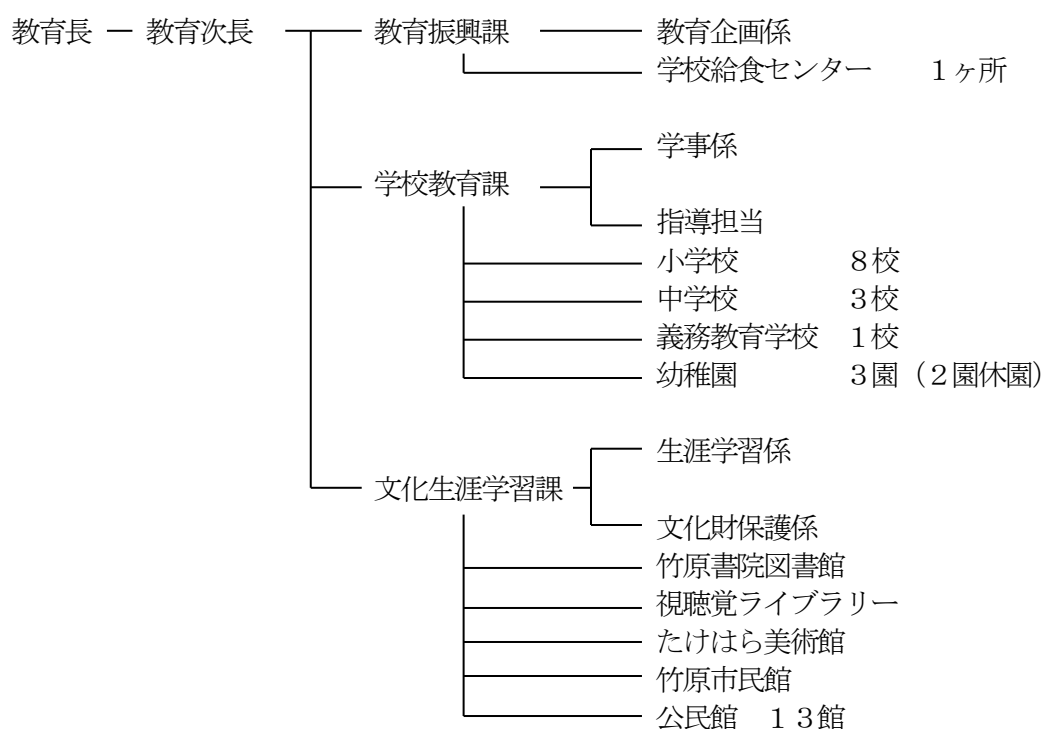
役 職 名	氏 名	最 初 の 就 任 年 月 日
		任 期 満 了 年 月 日
教育長	高 田 英 弘	平成30年 4月 1日
		平成31年 6月20日
教育長職務代理者	梅 田 一 榮	平成19年 2月 1日
		平成31年 1月31日
委 員	河 埜 内 鈴 子	平成19年 2月 1日
		平成31年 1月31日
委 員	浅 野 稔	平成25年 2月 1日
		平成33年 1月31日
委 員	市 川 義 隆	平成29年 2月21日
		平成34年 1月30日
委 員	中 秋 英 一	平成28年 6月21日
		平成32年 6月20日

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌

1 教育委員会の機構

(1) 所在地 竹原市中央五丁目1番35号

(2) 事務局・学校その他の教育機関



2 竹原市教育委員会事務局事務分掌

教育振興課

教育企画係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育行政の企画及び総合調整に関すること。
- (3) 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関すること。
- (4) 教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 公文書の受付、発送及び整理に関すること。
- (7) 教育委員会に係る歳入歳出予算に関すること。
- (8) 調査統計に関すること。（他課に属さないもの）
- (9) 教育財産の取得及び処分に関すること。
- (10) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
- (11) 請願、陳情等に関すること。
- (12) 叙勲申請等に関すること。
- (13) 学校給食に関すること。
- (14) 学校、幼稚園施設に関すること。
- (15) 奨学金に関すること。
- (16) 教育行政相談に関すること。
- (17) 教育委員会その他教育機関の建設及び維持管理に関すること。
- (18) 教育委員会各課の連絡調整に関すること。
- (19) 総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (20) その他、課の庶務に関すること。
- (21) その他、他の課の所掌に属しない事項に関すること。

学校教育課

学事係

- (1) 通学区域に関すること。
- (2) 児童、生徒及び幼児の就学に関すること。
- (3) 教職員並びに児童生徒及び幼児の保健、安全、厚生、福祉及び環境衛生に関すること。
- (4) 教具その他備品に関すること。
- (5) 就学援助、就学奨励に関すること。
- (6) 幼稚園保育料に関すること。
- (7) その他、学校教育に関すること。
- (8) その他、課の庶務に関すること。

指導担当

- (1) 校長、教職員等県費負担職員の任免、給与その他人事に関すること。
- (2) 学級編制に関すること。
- (3) 学校教育の調査統計に関すること。
- (4) 学校図書館に関すること。
- (5) 学校関係諸機関との連絡に関すること。
- (6) 教育課程に関すること。
- (7) 教育内容に関すること。
- (8) 学習指導に関すること。
- (9) 生徒指導に関すること。
- (10) 教職員の研修に関すること。
- (11) 教科書の採択に関すること。
- (12) 教育相談室に関すること。

文化生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員及び社会教育関係委員に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に関すること。
- (3) スポーツ推進審議会委員に関すること。
- (4) スポーツ推進委員に関すること。
- (5) 体育の振興に関すること。
- (6) 体育関係施設に関すること。
- (7) 芸術文化に関すること。
- (8) たけはら美術館の管理運営に関すること。
- (9) 竹原市民館の管理運営に関すること。
- (10) 公民館の管理運営に関すること。
- (11) 教育集会所の管理運営に関すること。
- (12) 市立竹原書院図書館に関すること。
- (13) 竹原市視聴覚ライブラリーに関すること。
- (14) その他生涯学習に関すること。
- (15) 課内庶務に関すること。

文化財保護係

- (1) 文化財及び関係施設に関すること。
- (2) 市史に関すること。
- (3) 歴史的風致維持向上計画（文化・文化財部門）に関すること。
- (4) 町並み保存センターに関すること。
- (5) 歴史民俗資料館に関すること。

V 教育費科目別当初予算の推移

(単位：千円)

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教 育 費	2, 118, 237	1, 801, 591	1, 228, 265	1, 258, 672	877, 934
教育総務費	1, 400, 803	847, 653	477, 772	573, 853	193, 151
教育委員会費	3, 076	3, 023	2, 921	2, 920	2, 881
事務局費	132, 352	125, 626	121, 692	123, 874	126, 392
教育指導費	61, 435	61, 259	71, 562	72, 354	62, 862
就学奨励費	4, 099	1, 436	1, 212	722	1, 016
小中一貫校整備費	1, 199, 841	656, 309	280, 385	373, 983	廃目
小 学 校 費	188, 092	288, 884	188, 428	193, 541	193, 648
学校管理費	157, 411	255, 308	161, 099	166, 257	165, 180
教育振興費	30, 681	33, 576	27, 329	27, 284	28, 468
中 学 校 費	113, 753	244, 343	135, 807	95, 488	92, 343
学校管理費	87, 140	221, 125	113, 316	75, 761	73, 035
教育振興費	26, 613	23, 218	22, 491	19, 727	19, 308
幼 稚 園 費	56, 763	36, 160	36, 657	39, 477	37, 865
幼稚園費	42, 982	35, 967	36, 594	39, 477	37, 802
教育振興費	13, 781	193	63	0	63
社会教育費	268, 077	283, 773	286, 869	249, 143	257, 849
社会教育総務費	41, 789	45, 266	46, 575	41, 448	40, 898
公民館費	71, 526	75, 532	78, 063	73, 938	75, 056
図書館費	60, 578	60, 472	59, 969	58, 442	54, 902
青少年指導費	4, 476	4, 455	4, 460	4, 399	4, 391
文化財保護費	39, 373	51, 552	46, 997	31, 661	41, 976
美術館費	36, 608	44, 820	38, 550	37, 647	36, 004
文化振興費	13, 727	1, 676	12, 255	1, 608	4, 622
保健体育費	90, 749	100, 778	102, 732	107, 170	103, 078
保健体育総務費	8, 729	8, 538	8, 959	8, 835	8, 325
体育施設費	2, 858	3, 306	3, 011	2, 683	2, 203
学校給食費	79, 162	88, 934	90, 762	95, 652	92, 550

平成30年度 竹原市学校教育ビジョン



基本方針

重点項目

具体的施策

就学前教育 の推進

- ◎ 保幼小連携の推進 **中核**
- 生きる力の基礎の育成

- 円滑な接続を目指したカリキュラムの策定と実施
- 育みたい資質・能力を考慮した指導の充実
- 自発的な活動としての遊びを生み出すための環境の構成

確かな学力 の向上

- ◎ 広島版「学びの変革」の全校展開 **中核**
- ◎ ICT活用教育の推進 **中核**
- 特別支援教育の推進

- 課題発見・解決学習を通じた資質・能力の育成
- 異文化間協働活動を通じたコミュニケーション能力の育成
- 主体的・対話的で深い学びを実現する日常的な授業改善
- 学力等に課題がある児童生徒への指導の充実
- 効果的なICT活用教育の充実
- 個の実態に応じたよりきめ細かい支援の充実

豊かな心 の育成

- ◎ 生徒指導の推進 **中核**
- 道徳教育の推進

- 関係機関との連携を含む組織的な生徒指導体制の確立
- 【中】道徳性を養う道徳の時間のカリキュラムの改善
- 【小】考え議論する道徳科の授業改善

健やかな体 の育成

- ◎ 健康教育の推進 **中核**
- 体力づくりの推進
- 食育の推進

- 早寝・早起・朝ごはんの定着をめざした生活リズムの確立
- 体力テストの実施・分析を通じた体育指導の工夫改善
- 学校給食指導を通じた日常的な食育指導の推進

信頼される 学校づくり

- ◎ 教職員の資質向上 **中核**
- 安全・安心な学校・地域

- 竹原市の子どもを愛する活力ある教職員の育成
- 人事評価制度を踏まえた、計画的・組織的・継続的な人材育成
- 不祥事防止委員会の機能化と服務規律の確保
- いじめ、体罰アンケート等を活用した防止機能の強化

充実した 教育環境づくり

- ◎ 小中一貫教育の推進 **中核**

- 9年間を見通した指導の徹底（学力・生徒指導・体力）

未来を拓く新たな教育への挑戦

夢をもち、子どもが輝く教育の実現

忠海小学校

郵便番号	729-2317		
所 在 地	竹原市忠海東町三丁目 9 番 1 号		
校 長	北村 洋子		
学 級 数	7	児 童 数	140
電 話	0846-26-0205		
Eメール	tadanoumi-e@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ ー広く やさしく 元気よくー

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

- 【知】○自ら学び、考え、行動できる児童生徒
- 【徳】○自らを律し、他を思いやることのできる児童生徒
- 【体】○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し、往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり、前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線、国道185号線が走り、近くには宮床海岸がある。



■研究課題■

アイデンティティを育て、自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造
～対話から、道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし、小学生と中学生が日常的に交流できる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成し、ICT機器を活用しながら、わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】

- ・主体的・協働的な学びの実践
- ・基礎・基本の定着

【健やかな体】

- ・体力の向上
- ・食育の推進

【豊かな心】

- ・道徳教育の充実
- ・自己指導能力の向上

【信頼される学校】

- ・小中一貫教育の推進
- ・情報発信と教育活動の公開

大乗小学校

郵便番号	729-2313		
所 在 地	竹原市高崎町 185 番地 7		
校 長	大政 勇司		
学 級 数	7	児 童 数	75
電 話	0846-24-1155		
Eメール	oonori-e@hiroshima-c.de.jp		

■校訓■ ー正しく 強く 仲よくー

■教育目標■

夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う
～気づき、考え、つながり、輝く～

■めざす子ども像■

力を合わせ きらり輝け 大乗っ子

■めざす学校像■



《笑》顔であいさつ
《楽》しく学習・体験つながる
《考》える

■学区の概要■

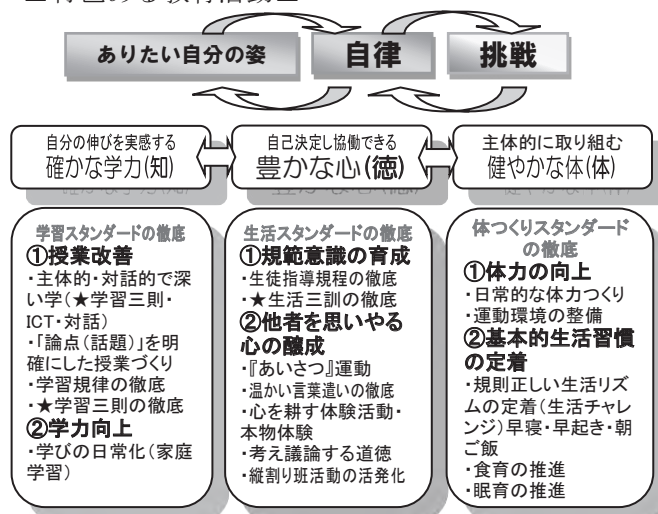
校区は、市南東部、風光明媚な瀬戸内の波に沿うように広がっている。また、バンブージョイハイランドや栽培漁業センターなど自然の恵みを生かした施設があり、教育活動に利用している。さらに「福田の獅子舞」をはじめとする文化・伝統に育まれた地域であり、学校教育への関心も高く、書道・太鼓・絵画・郷土史などに造詣が深い方々にゲストティーチャーとして協力を得ている。



■研究主題■

数量関係及び文章題の意味理解を深める指導の工夫
～インタラクション（相互作用）とリフレクション（振り返り）を重視した算数科授業を通して～

■特色ある教育活動■



竹原小学校

郵便番号	725-0023		
所在地	竹原市田ノ浦二丁目5番1号		
校長	徳森 友希男		
学級数	11	児童数	224
電話	0846-22-2105		
Eメール	takehara-e@hiroshima-c.ed.jp		

教育目標

夢や目標をもち、主体的に学ぶ子どもの育成

〈めざす子ども像〉

- 自分の思いや考えを
はっきりと伝えられる子
- 自分で課題を見つけ
最後まで努力できる子
- 思いやりをもち
ともに高め合える子

■学区の概要■

- 本校の校区は、小京都「たけはら」と呼ばれる竹原市街のほぼ中央に位置し、往時は塩田で栄えた古くからの町である。背後には緑豊かな山々が連なり、前には瀬戸の海が広がる風光明媚な所である。
- 校区には、江戸時代の町並みが残る「町並み保存地区」があり、周辺は主に商店街と住宅街である。



■研究主題■

主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成

■特色ある教育活動■

《確かな学力》

- ・主体的な学びを促す教育活動の推進
- ・思考力、表現力を育てる授業の創造
- ・基礎基本の充実と徹底

《健やかな体》

- ・基本的生活習慣の改善
- ・体力づくりの推進(敏捷性の向上)
- ・食育の推進

《豊かな心》

- ・自己有用感の向上
- ・規範意識の向上
- ・道徳教育の充実

中通小学校

郵便番号	725-0012		
所在地	竹原市下野町3469番地		
校長	川内 直美		
学級数	8	児童数	120
電話	0846-22-2606		
Eメール	nakadoori-e@hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

自ら学び、ともに学び合い、ともに伸びる

育てたい
資質・能力

課題発見・解決能力
思考力・表現力
協働する力
自己肯定感

■学区の概要■

西に朝日山(標高454m)がそびえ、中央に北西から賀茂川が流れ、その河岸に、国道2号線より竹原市を結ぶ国道432号線が通り抜けている。また、沿道には大型スーパー、運輸会社、自動車販売会社などが並んでいる。教育に寄せる地域の関心は高く、図書ボランティア・ゲストティーチャーをはじめとしてたくさんの方々が学校に協力してくださっている。



■研究主題■

主体的に学び論理的に考える児童の育成
～視聴覚機器を有効に活用した算数科の授業づくり～

■特色ある教育活動■

- 《思考力・表現力の育成》 電子黒板等 ICT 機器を活用した研究授業の実施
授業のユニバーサルデザイン
- 《基礎基本の学力の定着》 バンブータイムでの基礎・基本の定着を図る取組
学力フォローアップ校事業に係る研究推進
- 《読書の習慣》 朝読書絵本の読み語り、図書館整備・充実
家庭での読書活動の推進
- 《自己肯定感の育成》 児童・保護者・地域が一体となって行う体験活動
自己目標の設定、小中連携の推進、縦割り班活動
- 《清掃の徹底》 児童会活動による生活目標の設定と評価
小中連携による無言清掃の徹底
- 《体力の向上》 握力・長座体前屈記録向上、目標の設定とがんばりの評価、
中通サーキットトレーニング・七種検定
- 《食育の推進》 生活がんびり週間(月1回)、栄養バランス、お弁当の日
給食準備習慣の徹底

竹原西小学校

郵便番号	725-0021		
所在地	竹原市竹原町 2440 番地		
校長	藤野 恵子		
学級数	11	児童数	234
電話	0846-22-0946		
Eメール	takeharanishi-e@hiroshima-c.ed.jp		



■教育目標■

自ら学び 心豊かに生きる児童の育成

■めざす子ども像■

- 本気で学習
- 進んで挨拶
- 黙々掃除
- しっかり食べて しっかり運動

■学区の概要■

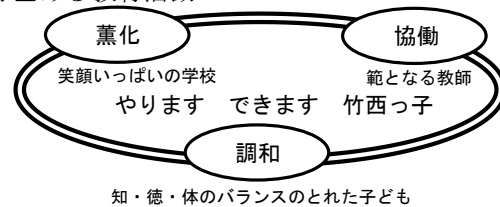
竹原西小学校は、安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し、学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周囲を葡萄畑や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。明治6年創立の明親館を前身とする竹原西小学校は、竹原小学校の児童数が増加したことにより昭和43年に創立され、今年で50年目を迎えた。

保護者も地域の方も協力的で、PTA活動にも多くの参加があり、活気ある教育活動が行われている。

■研究主題■

主体的・協働的に学ぶ児童の育成
～学び合い深め合う授業を創る～

■特色ある教育活動■



東野小学校

郵便番号	725-0004		
所在地	竹原市東野町 914 番地		
校長	芳川 真理		
学級数	7	児童数	44
電話	0846-29-0114		
Eメール	higashino-e@hiroshima-c.ed.jp		



■教育目標■

自ら学び、共に伸びる

■めざす子ども像■

気づき・考え・実行する子

■育てる資質・能力■

課題発見・解決力 伝える力 やり抜く力

■学区の概要■

本校は、竹原市中心部と国道2号線を結ぶ国道432号線の間、西側山麓に位置している。

地域は、賀茂川沿いの6地域からなり、人家は国道沿いに多く集まっている。

農村地帯であるが、農業に従事する保護者は減少しており、竹原市を中心とした周辺町の会社・工場に勤務している。近年新興住宅地の造成も減少し、全国的傾向である少子高齢化は、当地域でも進んでいる。

■研究主題■

主体的に学び合う児童生徒の育成
～豊かにかかわり合い、高め合う道徳教育を通して～

■特色ある教育活動■

今年のキーワード「Never give up!」

○豊かな表現

- ・表情豊かな歌声 ・力強い東野太鼓
- ・音読 ・メディアセンターの充実

○基礎基本の学力の定着

- ・単元構成の工夫 ・学習リーダーの活用

○リーダーを中心とした異学年集団による仲間づくり

- ・たて割り班活動 ・たて割りそうじ
- ・ロング昼休憩 ・たて割り班休憩

○レジリエンスの育成 けん玉

荘野小学校

郵便番号	725-0002		
所在地	竹原市西野町 2025 番地		
校長	吉田 美和		
学級数	6	児童数	69
電話	0846-29-0002		
Eメール	shouno-e@hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

夢とおもてなしの心をもった児童の育成
 ～地域と共に主体性と協働性を育む学校～
 ○夢や目標をもって挑戦する児童
 ○他者を理解し、力を合わせて伸びる児童

■学区の概要■

竹原市の北西部、国道2号線と432号線との交差点の西方に位置し、山に囲まれ、賀茂川、葛子川、田万里川が流れ、自然豊かな田園地帯の中にある。北東に横大道古墳が、南に小早川隆景の木村城址が、東西に旧山陽道が走っており歴史的に古い町である。

学校教育への関心が高く、PTA活動・ボランティア活動など、多くの協力をいただいている。



■研究主題■

自他を尊重し、よりよく生きようとする子どもの育成
 ～多面的・多角的に考え、
 自己の生き方についての考えを深める道徳科の学習を通して～

■特色ある教育活動■

知

知識や技能の習得（基礎・基本）
 （チャレンジタイム・ぐんぐんタイム、「家庭学習の手引き」の活用
 資質・能力の育成を目指した主体的な学びの創造
 （授業スタイルに沿った学習展開、ICT機器の活用
 課題発見・解決学習の促進
 きらめきタイム《生活科、総合的な学習の時間》における
 地域を生かした学習の充実）

徳

自己指導能力の育成
 （生徒指導の三機能を意識した授業、「荘野しぐさ」の徹底）
 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
 （各教科等と関連付けた道徳の授業改善）

体

望ましい人間関係の形成
 （なかよしタイム、縦割り班活動、異学年交流の充実
 園児・中学生との交流）
 体力の向上
 （外遊びの奨励、わんぱくタイム・ランニングタイム
 体育科の授業・体育的行事の充実）
 健康で安全な生活習慣や態度の育成
 （生活がんばり《小中家庭学習強化ウィーク》の実施
 保健指導と食育指導の充実
 地域と連携した安全指導、防災教育の充実）

仁賀小学校

郵便番号	725-0005		
所在地	竹原市仁賀町 1280 番地		
校長	竹林 千恵		
学級数	3	児童数	15
電話	0846-29-0307		
Eメール	nika-e@hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「自分を育てる みんなで伸びる」
 ～子どもはみな伸びる芽をもっている～

■学区の概要■

竹原市北西部に位置し、美しい賀茂川の流に沿って田畑があり、山からは鹿や猪等が学校近くまで降りてくる姿がよく見かけられるなど豊かな自然に恵まれている。地域・保護者の教育への関心は高く、学校行事や多くの体験学習に協力してくださる方が多い。美しい自然や地域の人たちに支えられ、地域合同行事や異学年集団による体験活動を通して、主体的に学ぶ学習を進めている。

平成13年度から、自然環境が豊かな小規模校で地域や学校が希望する学校を特別に指定し、保護者が希望する児童に特別に入学・転学を認める小規模校入学特別認可制度を実施している。



■研究主題■

「主体的に学び合う児童生徒の育成」
 ～国語科における資質・能力を育む授業づくり～

■特色ある教育活動■

【知】基礎・基本の徹底：和室学習、小中連携による家庭学習の習慣化（小中9年間の学びをつなぐ）
 主体的な学びの促進：複式授業の課題発見・解決学習の推進

【心】協働性と自己肯定感の向上：道徳の授業改善、「学びに向かう力」の育成（感じる・考える・かかわる・感謝する）、仁賀っ子おこのみやきの徹底、異学年当番活動の充実、仁賀ふるさと学習の深化（仁賀探検歴史マップ・和太鼓演奏・にじます飼育・養蜂・プログラミング等）

【体】基本的な生活習慣の定着・体力向上：個別ファイルの活用、計画的な体力づくり（朝マラソン・一輪車・水泳・縄跳び等）、食育の推進（仁賀っ子料理教室、全校ランチョーム給食）

【信】地域等への情報発信・信頼関係の構築：地域の財産を生かした行事の充実（社会見学、運動会、一鉢配り、しめ縄づくり、神明ばやし、仁賀っ子おもてなしカフェ等）

忠海中学校

郵便番号	729-2317		
所 在 地	竹原市忠海東町三丁目9番1号		
校 長	北村 洋子		
学 級 数	4	生 徒 数	75
電 話	0846-26-0929		
Eメール	tadanoumi-j@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ 一広く やさしく 元気よくー

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

- 【知】○自ら学び、考え、行動できる児童生徒
- 【徳】○自らを律し、他を思いやることができる児童生徒
- 【体】○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し、往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり、前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線、国道185号線が走り、近くには宮床海岸がある。



■研究課題■

アイデンティティを育て、自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造
～対話から、道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし、小学生と中学生が日常的に交流できる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成するとともに、ICT機器を活用し、わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】

- ・主体的・協働的な学びの実践
- ・基礎・基本の定着

【健やかな体】

- ・体力の向上
- ・食育の推進

【豊かな心】

- ・道徳教育の充実
- ・自己指導能力の向上

【信頼される学校】

- ・小中一貫教育の推進
- ・情報発信と教育活動の公開

竹原中学校

郵便番号	725-0012		
所 在 地	竹原市下野町 2230 番地		
校 長	東 秀樹		
学 級 数	11	生 徒 数	306
電 話	0846-22-2045		
E メール	takehara-takehara-j@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■

「求真」

■教育目標■

「踏み出す力」の育成

～知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる
主体的な生徒の育成を通して～

■学区の概要■

南を瀬戸内海に面し、中央を賀茂川が流れる。竹原市は安芸の小京都と呼ばれ、製塩や酒造業で栄えた歴史と文化の薫り高い街である。

学区には竹原、竹原西、中通、大乘の4小学校があり、5つの小中学校で9年間を見据え、「自律の心に根ざした主体的な学びの創造」を教育指針とし、小中一貫教育を推進している。



■研究主題■

自分の考えや思いを自分の言葉で語り協働して
新たな知をつくることのできる生徒の育成
～「ユニバーサルデザイン」・「責任の移行モデル」
の視点からの授業改善を通して～

■特色ある教育活動■

- 1 知 確かな学力の定着を図るため、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。
・「ユニバーサルデザイン」・「責任の移行モデル」の視点からの授業改善
- 2 徳 望ましい集団や社会の在り方を理解させ、自己の目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。
・自己肯定感、自己有用感のもてる生徒の育成
- 3 体 心身ともに健やかな生徒を育成する。
・体力づくりの推進

賀茂川中学校

郵便番号	725-0004		
所在地	竹原市東野町 2051 番地 1		
校長	十亀 琢磨		
学級数	6	生徒数	88
電話	0846-29-0200		
Eメール	takehara-kamogawa-j@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■

世界に向かって 夢をもち
心豊かにたくましく生きる生徒の育成

〇めざす学校像

- ・あいさつや笑顔にあふれる学校
- ・生徒の目の輝きにあふれる学校
- ・環境の美しく落ち着きのある学校

■学区の概要■

本校は、賀茂川の源流にある中学校区として知られ、竹原市の北部に位置し、山と川にかこまれた風光明媚な田園地帯にあり、豊かな自然に恵まれ、学校では懐かしい鐘の音が時を告げている。

地域や保護者の教育に寄せる期待と関心は高く、地域の子どもの健全な育成にむけて熱心な活動がなされている。こうした地域や家庭の教育力に培われた生徒は素直で明るく、学校でも落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている。



■研究主題■

「主体的に学び合う児童生徒の育成」
—特別支援教育の視点を取り入れ、
自らの考えをもち 学び合う授業づくりを通して—

■特色ある教育活動■

- ★学習：学習三則（自発・協同・鍛錬）の徹底
- ★連携：「学びをつなぐ」をテーマとした、9年間を見通した小中連携の推進
- ★心：道徳教育の充実・感動体験
- ★体：部活動の充実（毎朝・夕練習）
- ★表現：生徒による生徒朝会
- ★体験：味噌作り・福祉体験・職場体験・味噌プレゼント活動・ボランティア活動（里帰り清掃）・赤ちゃんプロジェクト
- ★生活：生活三則（挨拶励行・時間厳守・環境美化）の徹底
賀茂川スタンダード（特別支援教育の視点から）
- ★安全：毎日、集団下校・下校パトロール

吉名学園

郵便番号	725-0013		
所在地	竹原市吉名町 2671 番地		
校長	亀井 伸幸		
学級数	13	児童生徒数	163
電話	0846-28-0205・0846-28-0203		
Eメール	yoshina-a@hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる
児童・生徒の育成」

〇めざす学校像

- ・安心して生活でき、安全に生活できる学校
- ・9年間を見通した教育活動を進める学校
- ・規律を大切にし活気と歌声にあふれる学校

■学区の概要■

本校は竹原市の西部に位置し、温暖な気候と自然に恵まれている。主な産業としてジャガイモの栽培や煉瓦工場が知られている。元内閣総理大臣の池田勇人を輩出した土地柄であり、地域の学校教育への関心は高い。地域全体で吉名町の子どもたちを育てていこうという教育的風土がある。



■研究主題■

9年間で育む「主体的な学び」に関する研究
～ICEモデルと思考スキル等を活用した協働的な学習の取組を通して～

■特色ある教育活動■

- ◎小中一貫教育の推進：9年間を見通した指導の徹底
 - ・外国語教育の研究推進
 - ・前期課程への教科担任制の導入
 - ・生徒指導規程の統一
 - ・前期生、後期生による合同行事の設定
- ◎特別支援教育の推進：一人一人の障害や発達段階に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・全学年特別支援教育の視点に立った教室環境の整備
- ◎キャリア教育の推進：基礎的・汎用的能力を育成し社会的・職業的自立に向け、体験的活動を充実
 - ・地域をフィールドとした体験活動の充実
 - ・「地域に学ぶ」「未来を拓く」学習の充実

1 小・中学校及び義務教育学校児童生徒数

(1) 小学校児童数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	児 童 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	内81条学級	計
1	忠海小	14	25	30	20	30	21	1	140
2	大乘小	11	17	10	7	13	17	2	75
3	竹原小	39	34	43	38	32	38	6	224
4	中通小	20	18	22	17	23	20	2	120
5	竹原西小	29	29	42	54	43	37	5	234
6	東野小	2	7	9	7	12	7	3	44
7	荘野小	8	16	9	10	8	18	0	69
8	仁賀小	2	2	4	3	0	4	0	15
小学校計		125	148	169	156	161	162	19	921

(2) 中学校生徒数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	生 徒 数				
		1年	2年	3年	内81条学級	計
1	忠海中	17	25	33	1	75
2	竹原中	95	113	98	3	306
3	賀茂川中	24	31	33	3	88
中学校計		136	169	164	7	469

(3) 義務教育学校児童生徒数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	児 童 ・ 生 徒 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	内81条学級	計
1	吉名学園	20	10	17	25	18	20	13	18	22	12	163
義務教育学校計		20	10	17	25	18	20	13	18	22	12	163

2 小・中学校及び義務教育学校学級数

(1) 小学校学級数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	忠海小	1	1	1	1	1	1	1	7
2	大乘小	1	1	1	1	1	1	1	7
3	竹原小	2	1	2	1	1	1	3	11
4	中通小	1	1	1	1	1	1	2	8
5	竹原西小	1	1	1	2	2	1	3	11
6	東野小	1	1	0.5	0.5	1	1	2	7
7	荘野小	1	1	1	1	1	1	0	6
8	仁賀小	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	3
小学校計		8.5	7.5	8	8	8	8	12	60

(2) 中学校学級数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数				
		1年	2年	3年	81条学級	計
1	忠海中	1	1	1	1	4
2	竹原中	3	3	3	2	11
3	賀茂川中	1	1	1	3	6
中学校計		5	5	5	6	21

(3) 義務教育学校学級数

(平成30年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	81条学級	計
1	吉名学園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	13
義務教育学校計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	13

3 小・中学校及び義務教育学校教職員数

(平成30年5月1日現在)

校 番	校 名	計	教 職 員 数											
			県 費 教 職 員 数								市 費 教 職 員 数			
			校 長	教 頭	教 主 諭 幹	教 指 諭 導	教 諭	教 養 諭 護	教 栄 諭 養	職 事 員 務	職 事 員 務	用 務 員	介 助 員	補 校 助 員 務
1	忠海小	18	1	1	0	0	8	1	1	1	0	1	3	1
2	大乘小	16	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	3	1
3	竹原小	26	1	1	0	0	13	1	1	1	0	2	6	0
4	中通小	18	1	1	0	0	11	1	0	1	0	1	1	1
5	竹原西小	32	1	1	0	0	16	1	0	2	0	2	7	2
6	東野小	15	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	2	1
7	荘野小	13	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	0	1
8	仁賀小	6	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
小学校計		144	8	8	0	0	71	8	2	9	0	9	22	7

1	忠海中	16	1	1	0	0	9	1	0	1	0	1	1	1
2	竹原中	31	1	1	0	0	21	1	0	2	1	1	1	2
3	賀茂川中	17	1	1	0	0	10	1	0	1	0	1	1	1
中学校計		64	3	3	0	0	40	3	0	4	1	3	3	4

1	吉名学園	40	1	2	0	1	20	2	0	3	0	3	8	0
義務教育学校計		40	1	2	0	1	20	2	0	3	0	3	8	0

合 計		248	12	13	0	1	131	13	2	16	1	15	33	11
-----	--	-----	----	----	---	---	-----	----	---	----	---	----	----	----

※ 臨時職員等を含む

4 学校施設の現況

(1) 小学校

(平成30年5月1日現在)

学校名		忠 海	大 乗	竹 原	中 通	竹原西	東 野	荘 野	仁 賀	合 計	
児童数		140	75	224	120	234	44	69	15	921	
校地	面積	32,254	20,780	20,292	13,618	19,133	9,345	13,313	5,951	134,686	
	1人当り	150.0	277.1	90.6	113.5	81.8	212.4	192.9	396.7	146.2	
校地のうち運動場	面積	18,560	12,045	9,600	8,180	10,465	5,212	7,295	2,101	73,458	
	1人当り	86.3	160.6	42.9	68.2	44.7	118.5	105.7	140.1	79.8	
建物面積(㎡)	校舎	4,773	2,910	5,463	2,404	3,955	2,079	2,265	1,078	24,927	
	屋体	1,236	1,100	1,396	997	919	846	808	789	8,091	
保有教室数	普通教室		7	7	11	8	11	9	6	3	62
	特別教室	理科	2	1	2	1	1	1	1	1	10
		音楽	1	1	2	1	1	1	1	1	9
		図工	2	1	1	1	1	1	1	1	9
		家庭	2	1	2	1	1	1	1	1	10
		図書	1	1	1	2	1	1	1	1	9
		コンピューター	1	1	1	1	1	1	1	1	8
		特別	2	2	2	0	2	0	1	0	9
		多目的	1	3	11	0	4	0	1	1	21
	教育相談	2	0	1	0	1	0	1	0	5	
プール		25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース	25M 5コース	25M 7コース	25M 5コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和50年 3月	昭和53年 1月	昭和51年 3月	昭和47年 3月	昭和44年 3月	昭和57年 3月	昭和63年 3月	平成 6年 3月		
	屋体	昭和52年3月	昭和55年 3月	平成26年 3月	昭和55年 3月	昭和62年 3月	昭和60年 3月	昭和63年 6月	平成11年 3月		
	プール	昭和55年10月	平成12年 3月	昭和49年 7月	昭和53年 7月	昭和54年 8月	昭和52年 8月	昭和58年 2月	昭和39年 9月		

(2) 中学校

(平成30年5月1日現在)

学校名		忠 海	竹 原	賀茂川	合 計	
生徒数		75	306	88	469	
校地	面積	32,254	38,198	20,638	91,090	
	1人当り	150.0	124.8	234.5	194.2	
校地のうち運動場	面積	18,560	26,001	13,287	57,848	
	1人当り	86.3	85.0	151.0	123.3	
建物面積(㎡)	校舎	4,773	7,311	3,200	15,284	
	屋体	1,236	1,471	941	3,648	
保有教室数	普通教室		4	11	6	21
	特別教室	理科	2	2	1	5
		音楽	1	2	1	4
		美術	1	2	1	4
		技術	2	3	2	7
		家庭	2	3	2	7
		視聴覚	0	1	1	2
		コンピューター	1	1	1	3
		図書	1	2	1	4
		特別	2	4	2	8
		多目的	3	12	2	17
	教育相談	2	6	1	9	
プール		25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和50年 3月	昭和48年 9月	昭和54年 8月		
	屋体	昭和52年3月	昭和49年10月	平成 2年 3月		
	プール	昭和55年10月	昭和51年 8月	平成 5年 3月		

※ 忠海小学校及び忠海中学校の校地及び運動場の1人当り面積は、各面積を両校の児童・生徒数合計で除している。

※ 特別教室 特別…児童会室・生徒会室・礼法室・通級学級等

(3) 義務教育学校 (平成30年5月1日現在)

学校名		吉名学園	合 計	
児童生徒数		163	163	
校地	面積	41,271	41,271	
	1人当り	253.2	253.2	
校地のうち運動場	面積	16,370	16,370	
	1人当り	100.4	100.4	
建物面積(㎡)	校舎	3,702	3,702	
	屋体	1,012	1,012	
保有教室数	普通教室	13	13	
	特別教室	理科	1	1
		音楽	1	1
		美術	1	1
		技術	1	1
		家庭	1	1
		図書	1	1
		コンピューター	1	1
		特別	7	7
		多目的	1	1
教育相談	1	1		
プール		25M 7コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和58年 1月		
	屋体	昭和59年 3月		
	プール	昭和63年 3月		

※ 特別教室 特別…児童会室・生徒会室・礼法室・通級学級等

5 学校保健

学校教育において、健康診断等を柱とする安全と傷害及び疾病の予防に関する保健教育と管理指導は、児童生徒の心身の健全な育成を図るとともに、児童生徒が学校生活を豊かに過ごす上で、基礎的な要素となる。

学校保健の推進にあたっては、体育、保健、安全及び給食指導との相互関連に十分配慮しながら一層の充実を図っていく。

○ 児童生徒の疾病状況（平成29年度）

区分			視力	歯科					尿			心臓	アトピー
				う歯なし	処理完了	未処理	歯垢	歯肉	蛋白	潜血	糖		
小学校	平成29年度	人数	260	617	195	265	17	9	12	7	1	11	73
		率%	23.9	57.3	18.1	24.6	1.6	0.8	1.1	0.6	0.1	6.8	6.7
	10年前	人数	347	633	401	495	31	6	5	26	2	8	107
		率%	22.7	41.4	26.2	32.4	2.0	0.4	0.3	1.7	0.1	3.5	7.0
中学校	平成29年度	人数	148	341	89	113	87	22	27	10	2	20	24
		率%	26.4	62.9	16.4	20.8	16.1	4.1	4.9	1.8	0.4	10.6	4.4
	10年前	人数	196	558	129	146	48	17	30	2	6	19	42
		率%	23.2	67.1	15.5	17.6	5.8	2.0	3.6	0.2	0.7	6.7	5.0

区分			心臓疾患	腎臓疾患	耳疾患	鼻疾患	眼疾患	咽頭疾患	ぜん息	肥満
小学校	平成29年度	人数	6	1	102	435	72	9	44	92
		率%	0.6	0.1	9.4	40.1	6.6	0.8	4.1	8.5
	10年前	人数	8	0	104	356	139	3	42	91
		率%	0.5	0.0	6.8	23.2	9.0	0.2	2.7	5.9
中学校	平成29年度	人数	5	0	40	256	45	2	11	52
		率%	0.9	0.0	7.1	45.7	8.0	0.3	2.0	9.5
	10年前	人数	11	2	32	48	178	0	44	97
		率%	1.3	0.2	3.8	5.7	21.1	0.0	5.2	11.5

6 学校給食

本市では、昭和22年に一部の学校でミルク給食が始められ、その後、昭和27年2月忠海西小学校における学校給食の開始を最初とし、現在では竹原市学校給食センターから小学校8校、中学校3校の全小中学校と義務教育学校1校へ、安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は、基本方針に定めるとおり、食に関する指導の教材となるために、地場産物や旬の食材の使用や、家庭の食器に近く温かみのある磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。

竹原市学校給食センターで使用する食材選定は、「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い、公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。また、JAや市内の生産者等と連携しながら、市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間通して計画的に取り入れている。また、竹原市産の米を使用し、週3.5回を米飯とし、主食・主菜・副菜のそろった日本型の食事スタイルを基本に、できるだけ手作りで、焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

さらに、食育を推進していく中で、できるだけ個別対応ができるよう保護者の申請に基づき食物アレルギー等対応給食(除去食)を実施している。

(1) 施設の概要

名 称：竹原市学校給食センター

所 在 地：竹原市竹原町字明神1678番地27

敷地面積：1,868.25㎡(564.02坪)

建築面積：881.30㎡(266.65坪)

延床面積：848.09㎡(256.60坪)

構 造：鉄骨造 平屋建て

調理能力：2,300食/日

仕 様：完全ドライシステム

開 設：平成22年4月1日



(2) 学校給食センター職員体制

(平成30年5月1日現在)

所長	副所長	栄養 教諭	事務 職員	調理員
〈1〉	1 〈1〉	〈2〉	1	(20)

() は民間委託職員

〈 〉 は兼務の職員

(3) 平成30年度事業計画

給食の提供：年間約200日、1日あたりの平均食数 約1,780食

給食費：小学校245円、中学校285円

学校訪問：給食訪問、給食試食会、教科等での指導、食育月間中の訪問

学校への食育情報発信：給食だより(毎月)、たべものあれこれ(毎月) 他

竹原市学校給食センター運営委員会の開催

7 食育推進について

各学校で食育推進リーダーを中心に、地域の特色を生かした食に関する指導計画を作成し、児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも、栽培活動や調理などの体験学習は、児童生徒の食に対する興味関心を高めるとともに、食べ物や生産者への感謝の心が芽生え、学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童生徒の食に関する課題から、平成30年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体目標を「朝ごはんの充実を図る」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子を育成する」「よく噛んで食べることの大切さを知らせる」の4点を掲げ、竹原市食育推進行動計画に則しながら継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画

学校・地域・家庭が共に育てる

児童生徒へ

○生きる力（心身の健康） ○作る喜び
○食べる楽しさ ○感謝の心

【具体目標】

1 朝ごはんの充実を図る

いつも食べる子を100%に近づけ、単品ではなく2皿以上の朝ごはんを食べる子を90%以上にし、赤・黄・緑のグループの食品をそろえた朝ごはんを食べる子を60%以上にすることをめざす。

また、生活リズムを整え心身の健康を図るため、早寝早起き朝ごはんに気をつける子を90%以上にすることをめざす。

2 食事のマナーを身につけさせる

はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ、いつもマナーに気をつけている子を90%以上にする。

3 食事の準備のできる子を育成する

料理を作るのが好きな子を増やし、小学校卒業までに炊飯器でごはんを炊き、自分で1食分の食事を作れる子を90%以上にする。また、中学卒業までに自分の弁当を作れる子を80%以上にする。

4 よく噛んで食べることの大切さを知らせる

よく噛んで食べたり、味わって食べたりする子を80%以上にする。

竹ちゃん給食

（児童生徒が考案した竹原ならではの料理）

食育の取組

- ・毎月1回…ひろしま産物 DAY
- ・毎月1回…竹ちゃん給食
- ・毎月19日…食育の日
- ・6月…竹原市食育週間
- ・10月…ひろしま食育ウィーク
- ・1月…学校給食週間

月	料理名	月	料理名
4	竹ちゃんサラダ	11	峠下牛のタコライス
5	たけのこのクリーム煮	12	じゃがいものみそ煮
6	峠下牛とアヲハタマー マレードの甘辛炒め	1	ジャーマンポテトエ ッグ
7	夏野菜まんさいスープ	2	たこじゃがソテイ
9	元気☆うまうま丼	3	竹原いっぱい丼
10	牛たこ丼		

Ⅶ 竹原市立幼稚園の現況

1 竹原市立幼稚園における教育目標

幼児期は、人間形成の基礎を培う大切な時期である。幼稚園教育は、遊びを中心とし、集団生活を通じた教育が行われることが重要である。

幼児の発達段階に応じた指導と、幼児相互の交流を通じて、幼児の心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため、一人ひとりに応じた総合的な指導が行える施設整備と幼稚園教育の条件整備を図り、幼稚園教育の普及・充実に努める。

2 就学前の状況

(平成30年5月1日現在)

区分		施 設 名		定 員	3 歳未満児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
幼稚園	市立	竹 原 西		140	—	17	12	12	41
		竹 原 東		休 園 中					
		大 乗		休 園 中					
		小 計		140	0	17	12	12	41
	私立	聖 愛		90	—	(3) 2	2	2	(7) 6
小 計		90	0	(3) 2	2	2	(7) 6		
保育所	市立	竹 原 西		90	10	10	10	8	38
		吉 名		90	15	10	7	12	44
		竹 原		80	15	16	10	13	54
		大 井		40	6	1	0	3	10
		中 通		60	8	10	6	11	35
		東 野		45	8	1	5	4	18
		市外入所		—	0	1	0	0	1
		田 万 里		休 所 中					
		仁 賀		休 所 中					
		小 計		405	62	49	38	51	200
こども園	私立	忠海東部	1 号	10	—	4	2	1	7
			2・3 号	30	(8) 6	(6) 4	3	(10) 8	(27) 21
		明 星	1 号	10	—	(3) 1	3	(2) 1	(8) 5
			2・3 号	60	(15) 10	(9) 3	(7) 5	(9) 8	(40) 26
		大 乗	1 号	25	—	(11) 10	6	6	(23) 22
			2・3 号	40	(17) 16	11	4	8	(40) 39
		中 央	1 号	95	1	13	15	(12) 11	(41) 40
			2・3 号	60	(35) 29	(14) 13	(17) 14	20	(86) 76
		賀 茂 川	1 号	10	—	(5) 4	(3) 2	2	(10) 8
			2・3 号	80	(32) 23	(9) 7	(20) 17	(20) 19	(81) 66
		市外入所		—	1	0	0	0	1
		小 計	1 号	150	1	(36) 32	(29) 28	(23) 21	(89) 82
			2・3 号	270	(108) 85	(49) 38	(51) 43	(67) 63	(275) 229
		住民基本台帳年齢別人口					385	147	122

※ () 数字は広域入所を含んだ人数

3 幼稚園施設の現状

(平成30年5月1日現在)

(平成30年3月1日現在)

幼稚園	園地面積 (m ²)				建物面積 (m ²)		園児室	建築年月	
	園地		左のうち運動場		園舎	遊戯室		園児室	遊戯室
	面積	1人当り	面積	1人当り					
大 乗	2,316	－	882	－	328	115	1	昭和46年12月	昭和52年8月
竹原東	2,656	－	2,051	－	292	182	3	昭和42年 3月	昭和42年3月
竹原西	2,765	67.4	1,776	43.3	373	147	3	昭和42年 3月	昭和42年3月
計	5,081	－	2,658	－	993	444	7	－	－

平成30年度 幼稚園紹介

竹原西幼稚園

郵便番号	725-0022
所在地	竹原市本町四丁目3番1号
園 長	木村 みづほ
クラス数	3
園 児 数	41
電 話	0846-22-2394

■教育目標■

夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- げんきな子
- やさしい子
- がんばる子



■研究主題■

「5つの力」を育む保育の在り方

～運動遊びを通して～

■特色ある教育活動■

- 1 **げんきな子 (体)**
 - 「基本の3つの運動の環境構成を年間を通じて計画的に行う。」
 - ・3つの運動の一人一人の見取りを行う。
- 2 **やさしい子 (徳)**
 - 互いの気持ちや考えを伝え合ったり、折り合いをつけたりして、よい関係をつくる。
 - ・道徳性の芽生え、規範意識を育む。
 - ・お話を通して心を動かす経験をさせる。
- 3 **がんばる子 (知)**
 - 知っていることを工夫し、試行錯誤して最後まであきらめない力を育む。
 - ・めあてをもたせ達成感や認め合い励まし合う振り返りの場を大切にする。
 - ・「5つの力」を育てる研究保育を推進する。

Ⅷ 生涯学習の現況

1 生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで、重要な役割を担う社会教育の充実を図るため、生涯学習の理念に基づき、豊かな生涯学習社会を築くことを目標に、生涯の各時期に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる体制づくり、また、国際化、情報化、少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び環境整備に努める。

(1) 生涯学習の推進

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を充実して、市民の生涯学習を推進する。

(2) 生涯スポーツの振興

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康・体力づくりの推進を図り、健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

(3) 青少年の健全育成（市長部局補助執行）

自分たちの住む地域に関心を持ち、青少年の連帯や主体性を育てるとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

(4) 芸術・文化の振興

芸術文化活動を行う個人・団体の交流を促進し、活動の充実や人材の育成に努めるとともに、活動の場を増やし、連携による相乗効果につながる活動を支援する。

(5) 文化財の保存活用

市民一人ひとりが文化財に触れる機会を増やすことで、郷土の文化財について理解を深め、関係機関・団体と連携する中で、文化財の保存・継承・活用の充実を図る。

2 生涯学習施設

(1) 教育施設

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開始年月
竹原市民館	中央五丁目 5番24号	RC造 地上3階 地下1階	3,714.33 m ²	ホール, 料理教室, 会議室(5), 和室(3) 竹原中央公民館併設	昭和43年10月
竹原市 歴史民俗資料館	本町三丁目 11番16号	木造 2階	242.03 m ²	展示室(3), 交流ホール	昭和55年6月
竹原市町並み 保存センター	本町三丁目 11番7号	RC造 2階	615.13 m ²	展示室, 収蔵室, 集会室, 研究室	昭和57年7月
松阪邸	本町三丁目 9番22号	木造 2階	347.09 m ²	玄関, 土間, 座敷, 蔵, 便所, 台所	昭和59年6月
光本邸	本町三丁目 7番4号	木造 平屋	156.02 m ²	和室, 展示室 (今井政之 陶芸の館)	平成12年10月
森川邸	中央三丁目 16番33号	木造 2階	750.00 m ²	主屋, 離れ座敷, 茶室, 隠居部屋, 土蔵, 表門, 脇門, 塀	平成16年4月

(2) 体育施設

施設名	面積	施設の概要	所在地
市営テニスコート	1, 502. 89 m ²	テニスコート 2 面	竹原町 3471 番地
大井スポーツ広場	2, 260. 00 m ²	多目的グラウンド	下野町 926 番地 5
忠海スポーツ広場	1, 120. 00 m ²	多目的グラウンド	忠海東町二丁目 5040 番地
宿根スポーツ広場	588. 00 m ²	多目的グラウンド	下野町 345 番地
小梨スポーツ広場	2, 706. 00 m ²	多目的グラウンド	小梨町 10385 番地 3
田万里スポーツ広場	3, 246 m ²	多目的グラウンド	田万里町 1241 番地
田万里プール	225. 00 m ²	2 5 m × 4 コース	田万里町 1229 番地 1
バンブー竹原市体育館	3, 500. 00 m ²	バレーボール2面, バドミントン8面, トレーニングルーム, 会議室	高崎町 1414 番地
バンブー多目的グラウンド	18, 000. 00 m ²	400mトラック (8コース), サッカー1面, ソフトボール2面	高崎町 1414 番地
バンブーテニスコート	11, 000. 00 m ²	テニスコート 8 面	高崎町 1414 番地

(3) 公民館

施設名	所在地	構造 (建築年月)	延床面積	施設内容	開館年月日
忠海東公民館	忠海東町五丁目 1 番 13 号	R C造 2 階 (平成 3 年 1 月)	432. 50 m ²	和室, 会議室, 料理実習室, 図書室, 集会室	平成 3 年 1 月 4 日
忠海公民館	忠海中町二丁目 26 番 1 号	R C造 2 階 (平成 6 年 6 月)	902. 37 m ²	和室②, 生涯学習室, 図書室 料理実習室, 集会室	昭和 29 年 7 月 8 日
大乘公民館	高崎町 185 番地 7	R C造 2 階 (コミセン併設) (昭和 57 年 4 月)	612. 00 m ²	和室②, 会議室, 資料室, 図書室 展示室, 料理実習室, ホール	昭和 57 年 4 月 1 日
竹原中央公民館	中央五丁目 5 番 24 号	R C造 3 階 (竹原市民館に併設) (昭和 43 年 6 月)	3, 714. 33 m ²	ホール, 料理教室, 図書室 展示室会議室⑤, 和室③	昭和 52 年 4 月 19 日
小梨公民館	小梨町 10381 番地 1	S 造平屋 (コミセン併設) (昭和 56 年 3 月)	299. 97 m ²	和室②, 閲覧室, 料理実習室 集会室, 会議室	昭和 28 年 10 月 1 日
竹原西公民館	竹原町 2377 番地 1	R C造 2 階 (コミセン併設) (昭和 58 年 4 月)	620. 00 m ²	和室③, 会議室②, ホール 料理実習室	昭和 58 年 4 月 23 日
中通公民館	下野町 3478 番地	R C造 2 階 (昭和 63 年 3 月)	604. 47 m ²	和室②, 会議室③, 図書室 料理実習室	昭和 63 年 3 月 29 日
東野公民館	東野町 887 番地	R C造 2 階 (平成 1 年 3 月)	609. 77 m ²	和室④, 会議室②, 図書室 料理実習室	昭和 28 年 10 月 11 日
荘野公民館	西野町 2054 番地 1	R C造 2 階 (平成 3 年 5 月)	606. 75 m ²	和室②, 会議室④, 図書室 料理実習室	昭和 27 年 3 月 2 日
田万里公民館	田万里町 1229 番地 1	R C造 2 階 (平成 5 年 4 月)	1, 554. 25 m ²	和室②, 会議室, 図書室 料理実習室, 体育館	昭和 29 年 12 月 12 日
仁賀公民館	仁賀町 1292 番地 1	木造平屋 (生活改善センターに併設) (昭和 57 年 4 月)	180. 94 m ²	和室②, 調理実習室, 集会室	昭和 31 年 9 月 18 日
大井公民館	下野町 1525 番地	R C造 2 階 (平成 4 年 3 月)	608. 24 m ²	和室④, 会議室, 図書室 調理実習室	昭和 38 年 5 月 25 日
吉名公民館	吉名町 4956 番地 22	R C造 2 階 (出張所・コミセン併設) (昭和 60 年 4 月)	660. 00 m ²	和室②, 会議室②, ホール 調理実習室	昭和 34 年 6 月 10 日

竹 原 市 文 化 財 一 覧 表

	名 称	所 在	指 定 年 月 日
国重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目 13 番 1 号	明治 43 年 4 月 20 日
	春風館頼家住宅	本町三丁目 7 番 24 号	昭和 63 年 12 月 19 日
	復古館頼家住宅	本町三丁目 7 番 26 号	昭和 63 年 12 月 19 日
国重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区	本町一丁目，三丁目，四丁目の一部	昭和 57 年 12 月 16 日選定
国天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和 5 年 11 月 19 日
	忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目 7 番 15 号	昭和 11 年 9 月 3 日
国登録有形文化財	旧日の丸写真館	本町一丁目 4996 番地 2	平成 26 年 12 月 19 日
県重要文化財	木造十一面観音立像	本町三丁目 10 番 44 号	昭和 37 年 3 月 29 日
	木造聖観音菩薩座像	吉名町観音谷	昭和 53 年 1 月 31 日
県 史 跡	礪宮	田ノ浦一丁目 6 番 8 号	昭和 12 年 5 月 28 日
	唐崎常陸介之墓	本町一丁目 16 番 22 号	昭和 17 年 6 月 9 日
	頼惟清旧宅	本町三丁目 12 番 21 号	昭和 32 年 9 月 30 日
	木村城跡	新庄町末宗	昭和 48 年 3 月 28 日
県天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目 12 番 27 号	昭和 12 年 5 月 28 日
	楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目 8 番 1 号	平成 4 年 10 月 29 日
県無形民俗文化財	福田のししまい	福田町中谷 稲生神社	昭和 56 年 4 月 17 日
	忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目 7 番 15 号	昭和 59 年 11 月 19 日
市重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条 2046 番地	昭和 46 年 12 月 27 日
	吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条 2046 番地	昭和 46 年 12 月 27 日
	駕籠	忠海床浦二丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 12 月 27 日
	弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 12 月 27 日
	松阪家住宅	本町三丁目 9 番 22 号	昭和 60 年 4 月 10 日
	西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目 10 番 44 号	昭和 62 年 12 月 26 日
	紙本着色竹原絵屏風	本町三丁目 7 番 24 号	平成 2 年 2 月 14 日
	森川家住宅	中央三丁目 16 番 33 号	平成 16 年 7 月 21 日
市 史 跡	福田社倉	福田町中谷 1571 番地	昭和 38 年 9 月 13 日
	郷賢祠	田ノ浦二丁目	昭和 38 年 9 月 13 日
	横大道古墳群	新庄町東鷺ノ森 331 番地	昭和 38 年 9 月 13 日
	田万里鏡田古墳群	田万里町鏡田	昭和 38 年 9 月 13 日
	能島村上氏の遺跡	竹原町 124 番地 外	平成 4 年 12 月 24 日
	東永谷製鉄遺跡	下野町 966 番 1 号の一部 下野町 974 番 1 号の一部	平成 20 年 10 月 22 日
市天然記念物	宿根の大桜	下野町字宿郷 359 番地	平成 26 年 4 月 24 日
市無形民俗文化財	田万里八幡神社当屋祭 オハケ神事	田万里町 1222 番地	平成 25 年 10 月 24 日

IX 図書館

1 館 名 市立竹原書院図書館

2 所在地 竹原市下野町3308番地（〒725-0012）

TEL 0846-22-0778

FAX 0846-22-1072

ホームページ <http://takeharashoin.jp/>

メールアドレス library@city.takehara.lg.jp

3 開館時間・休館日

開館 午後10時～午後6時

休館 毎週月曜日、毎月末日（館内整理日）、国民の祝日（文化の日を除く）、
特別整理期間、年末年始（12月28日～1月4日）

4 施設・設備（平成30年4月1日から仮移転）

建物面積 502.2㎡（フジ竹原店テナント敷地内）

児童コーナー 55.03㎡ 一般図書コーナー 286.07㎡

事務室・作業室 160.1㎡

5 館の概要

(1) 名称の由来

寛政5年（1793年）に郷土の先賢によって、子弟のために設けられた郷塾からはじまり、その後、明治43年（1910年）有志の手によって、社団法人「竹原書院」の名称で図書館活動が受け継がれた。昭和4年（1929年）に町立図書館「竹原書院」となり、昭和33年（1958年）の市制施行により、「竹原市立書院図書館」に、そして、その後現在の「市立竹原書院図書館」となった。

(2) 所蔵の特色

「竹原書院」時代から、受け継がれた江戸時代の製塩業関係古文書、竹原の歴史・風俗が書かれた和本・古地図や頼山陽に関する刊行された資料を多数収集・所蔵している。

(3) 移動図書館車

利用者の利便性向上のため、昭和57年10月から、移動図書館車「わかたけ号」を市内ステーションに定期的に巡回している。

6 分類別蔵書数

(平成30年3月31日現在)

区 分 分 類		蔵 書 数	年 間 増 加 冊 数		
			受 入	廃 棄 等	小 計
0．総 記		13,008	179	59	120
1．哲 学		7,640	98	9	89
2．歴 史		17,148	269	122	147
3．社 会 科 学		26,596	447	45	402
4．自 然 科 学		13,177	384	22	362
5．工 学		14,486	338	12	326
6．産 業		6,238	145	8	137
7．芸 術		13,461	281	12	269
8．語 学		2,788	55	4	51
9．文 学		88,755	1,977	91	1,886
計		203,297	4,173	384	3,789
内	児 童 書	49,020	1,191	127	1,064
	郷 土	16,828	113	0	113
その他（漫画図書）		3,203			
蔵書冊数		206,500			

平成29年度受入内訳

購 入	3, 8 2 2 冊
寄 贈	2 3 8 冊
そ の 他	7 9 冊
遡及入力	3 7 冊
計	4, 1 7 6 冊

7 郷土資料

区 分	内 容	冊 数 ・ 点 数
図 書	竹原市内に関するもの	8,848
	広島県内に関するもの	7,980
近 世 文 書	市史編さん史料として, 合併町村から集めたもの, 及び竹原塩田関係史料	約 20,000
古地図・拓本類	江戸時代の古地図（軸物）と, 郷土に関した拓本類	32

8 利用状況

(1) 開館日数（平成29年度）

・本館	238日
・移動図書館車	82日
・竹原市視聴覚ライブラリー	238日

※平成30年2月5日（月）～平成30年3月31日（土）移転の為、休館

(2) 図書館の利用

		本館	移動図書館車	合計
個人貸出	登録者数	15,057	—	15,057
	貸出者数	23,534	5,602	29,136
	貸出冊数	116,347	21,231	137,578
団体貸出	団体登録者数	256	—	256
	貸出冊数	9,487	28,903	38,390
停本所	停本所数	14	—	14
	貸出冊数	11,076	—	11,076
貸出冊数合計		136,910	50,134	187,044

竹原市視聴覚ライブラリー

1 所在地 竹原市教育委員会事務局内

2 貸出可能視聴覚機器（貸出返却は、市立竹原書院図書館内）

種類	数	種類	数
アンプ	2台	ピンマイク	2本
有線マイク	2本	プロジェクター	2台
オーバーヘッド	1台	マイクスタンド	4台
スクリーン	2台	ビューアー	1台
DVDプレーヤー	1台	カセットテープレコーダー	1台

3 視聴覚資料

種類	数	種類	数
レコード	258枚	ビデオ	126本
録音テープ	410本	マイクロフィルム	188巻
スライドフィルム	36巻	レーザーディスク	19枚
8ミリ映画フィルム	1巻	DVD	121枚
コンパクトディスク	84枚		

X たけはら美術館

1 館 名 たけはら美術館

2 所在地 竹原市中央五丁目6番28号(〒725-0026)
TEL・FAX 0846-22-3558
ホームページ <http://www.city.takehara.lg.jp/>
メールアドレス take-art@city.takehara.lg.jp

3 施設・設備

《たけはら合同ビル面積概要》

【内訳】

敷地面積	4,911.09㎡	広島県	5,086.35㎡
建築面積	1,886.14㎡	竹原市	1,573.22㎡
延床面積	7,783.93㎡	(たけはら美術館)	
		商工会議所	1,124.36㎡

《たけはら美術館面積概要》

1階	文化創造ホール(展示室3)	339.13㎡	放送室	6.33㎡
	事務室	25.84㎡	ロビー	116.06㎡
	研究室	21.47㎡	その他	106.08㎡
	倉庫	110.51㎡		
2階	アートギャラリー・池田コレクション(展示室1・2)	446.40㎡		
	その他		112.71㎡	
	収蔵庫		61.25㎡	

4 開館時間・休館日

開館 午前9時～午後5時 (入館は4時30分まで)

休館 毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)

5 館の概要

たけはら美術館は、広島県、竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に、本市の芸術・文化振興の拠点として、美術品の鑑賞の機会を提供し、広く文化活動のために利用していただくため、平成4年11月1日に開館した。

当館は、本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し、昭和41年に故人の遺志を受けてご遺族から寄贈された美術品(池田コレクション)を所蔵している。

池田コレクションは、竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者頼山陽(書)の他、狩野芳崖、横山大観、川合玉堂(日本画)、藤田嗣治(素描)、安井曾太郎(油彩画)、棟方志功(水彩画)等、約150点を所蔵している。

竹原の文化を企画展で紹介するとともに、特別展も開催している。

館内は、1階文化創造ホール(多目的ホール)、2階アートギャラリー・池田コレクションで構成し、「竹の街たけはら」にふさわしく中庭に竹の庭園を設け、くつろぎの場を醸しだしている。

6 収蔵品数

(平成30年4月現在)

区 分	池田コレクション	その他の収蔵品	合 計
日 本 画	46	16	62
油 彩 画	6	38	44
水 彩 画	1	0	1
パステル	1	0	1
素 描	1	17	18
書	22	52	74
彫 塑	6	13	19
工 芸	18	24	42
版 画	0	12	12
そ の 他	47	65	112
合 計	148	237	385

7 美術館利用状況

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間利用者数	15,212 人	12,827 人	12,222 人

(1) アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間開館日数		270 日	281 日	270 日
展覧会件数		6 件	5 件	5 件
総入場者数		5,746 人	4,767 人	4,085 人
展覧会平均入場者数		958 人	1,052 人	817 人
展 覧 会 入 場 者	1 日平均入場者数	21.3 人	17 人	15.1 人
	常 設 展	件数	4 件	4 件
		開館日数	204 日	265 日
		入場者数	2,434 人	3,759 人
		1 日平均入場者数	11.9 人	14.2 人
		土日祝日平均入場者数	16.4 人	10.8 人
	企 画 展	件数	2 件	1 件
		開館日数	66 日	5 日
		入場者数	3,312 人	326 人
		1 日平均入場者数	50.2 人	65.2 人

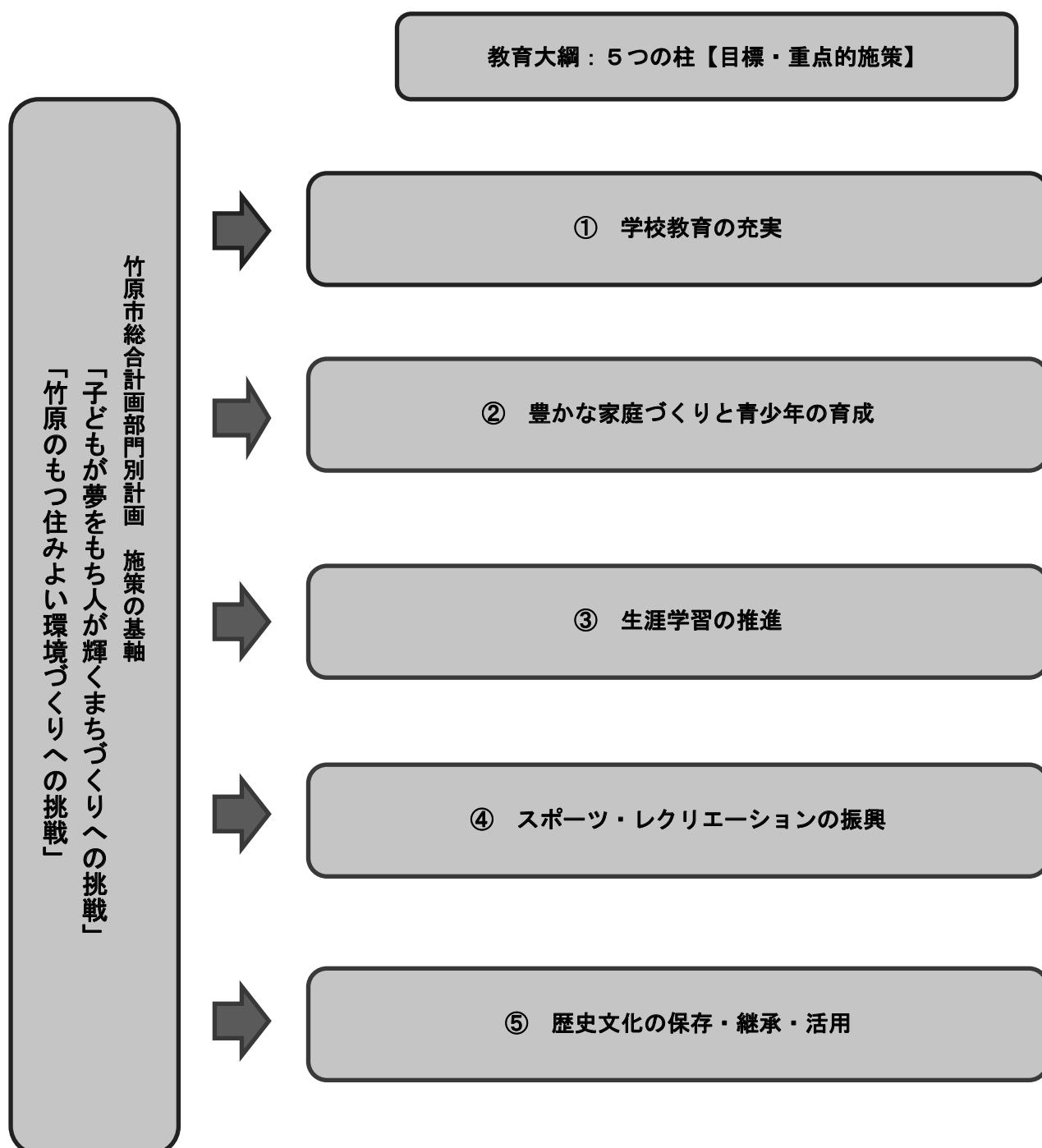
(2) 文化創造ホール

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利 用 日 数	130 日	137 日	126 日
展示会	48 日	76 日	47 日
文化講演・講座	9 日	0 日	0 日
演奏会等	2 日	0 日	0 日
参加型イベント	4 日	5 日	2 日
講習会等	32 日	31 日	47 日
展覧会等準備日数	35 日	25 日	30 日
利用件数	55 件	44 件	54 件
年間入場者数	9,466 人	8,060 人	8,137 人
1 日平均入場者数	72.8 人	58.8 人	64.6 人

XI 平成30年度竹原市教育委員会の主要な事業

1 竹原市教育大綱【平成27年度～平成30年度】

竹原市総合計画～後期基本計画～を構成する6つの部門（施策の基軸）でもある、「子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦」「竹原のもつ住みよい環境づくりへの挑戦」を目指すため、竹原市教育大綱では、「学校教育の充実」「豊かな家庭づくりと青少年の育成」「生涯学習の推進」「スポーツ・レクリエーションの振興」「歴史文化の保存・継承・活用」の5項目を柱とした上で、目標を掲げ、取り組むべき重点的施策について示しています。



2 平成30年度竹原市教育委員会の主要な事業

竹原市教育大綱に基づき、重点的に取り組む施策を推進するための事務事業は次のとおりです。

① 学校教育の充実

重点的施策	事業内容	担当課
就学前教育の推進	(1) 保幼小中連携の推進	学校教育課
確かな学力の向上	(2) 広島版「学びの改革」アクションプランの推進	学校教育課
	(3) 特別支援教育	学校教育課
	(4) ICT 活用教育	学校教育課
	(5) 読書活動の推進	学校教育課
豊かな心の育成	(6) 道德教育・生徒指導の推進	学校教育課
健やかな体の育成	(7) 体力づくり・健康教育・食育の推進	学校教育課 教育振興課
信頼される学校の推進	(8) 教職員の資質向上	学校教育課
	(9) いじめ防止対策の徹底	学校教育課
充実した教育環境づくり	(10) 小中一貫教育の推進	学校教育課 教育振興課

② 豊かな家庭づくりと青少年の育成

重点的施策	事業内容	担当課
青少年の健全育成の推進	(11) 家庭教育力の向上	社会福祉課
	(12) 要保護児童への対応強化	社会福祉課
青少年がいきいきと活動できる環境づくり	(13) 青少年活動に関わる団体の育成	社会福祉課
	(14) 青少年活動の場の確保・充実	社会福祉課

③ 生涯学習の推進

重点的施策	事業内容	担当課
生涯学習推進の仕組みづくり	(15) 「知の循環型社会」の構築	文化生涯学習課
	(16) 生涯学習の実践と学びの循環による人材育成	文化生涯学習課
多彩な生涯学習機会の確保・充実	(17) 学校・家庭・地域の連携・協力の推進	文化生涯学習課
	(18) 芸術文化活動の推進	文化生涯学習課

生涯学習関連施設の整備・ 充実と有効活用	(19) 人・学びを活かす公民館づくり	文化生涯学習課
	(20) 図書館・美術館・資料館等の連携と企画・運営の充実	文化生涯学習課

④ スポーツ・レクリエーションの振興

重点的施策	事業内容	担当課
豊かなスポーツライフ の実現	(21) 「親しむスポーツ」「育てるスポーツ」の推進	文化生涯学習課
	(22) 「極めるスポーツ」体験の推進	文化生涯学習課
スポーツ指導体制の確立	(23) スポーツ推進委員・体育協会及び加盟競技団体の指導者との連携	文化生涯学習課
スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用	(24) 体育施設の機能充実	文化生涯学習課
	(25) 学校体育施設等の整備・充実	文化生涯学習課

⑤ 歴史文化の保存・継承・活用

重点的施策	事業内容	担当課
歴史文化を守り、伝え、 はぐくむ人づくり	(26) 文化財に関する意識啓発	文化生涯学習課
	(27) 歴史文化にふれあう機会の確保・充実	文化生涯学習課
	(28) 歴史文化の保存・継承・活用の活動の支援	文化生涯学習課
文化財及び歴史資料の 保存・活用の仕組みづくり	(29) 文化財及び歴史資料の総合的把握と保存・活用	文化生涯学習課
町並みの保存・活用・魅力づくり	(30) 町並み保存地区の保存への取組強化	文化生涯学習課
	(31) 町並み保存地区及びその周辺における景観形成の推進	文化生涯学習課